

内閣総理大臣  
表彰

高知県推薦

# 株式会社高知システム開発

(高知県高知市)

## 【概要】

➤ 高知システム開発は1983年、高知県立盲学校の有光勲、北川紀幸の両先生及び筑波大学附属盲学校の長谷川貞夫先生からの依頼、協力を得て視覚障害者用ワープロの開発に着手。翌年、日本初の「点字入力・音声出力ワープロ」を完成。1988年に「株式会社高知システム開発」を設立。以来、視覚障害者の情報支援、社会参加支援を目的に、視覚障害者向け各種ソフトウェアの開発、販売、アフターサービスを行っており、日本全国の多くの視覚障害者の就労・教育・文化活動に大きく寄与している。



視覚障害者向けに開発された日本初の点字入力・音声出力ワープロ「AOK点字日本語ワープロVer3.0」

## 【功績・功労】

➤ 高知システム開発創業者の大田博志氏は、視覚障害者の「読みたい」「書きたい」の願いにこたえるべく、高知県立盲学校教諭の有光、北川両氏と共に視覚障害者用ワープロの開発に着手し、日本初となる「点字入力・音声出力ワープロ」を完成。音声を頼りに、視覚障害者が初めて墨字の「読む」「書く」ことが可能となった。その後も高度情報化社会の進展にあわせて、視覚障害者が様々な情報から排除されることのないよう、視覚障害者向けに文字入力操作を音声で案内するスクリーンリーダーのほか、多種多様なソフトウェアを開発、販売し続けている。



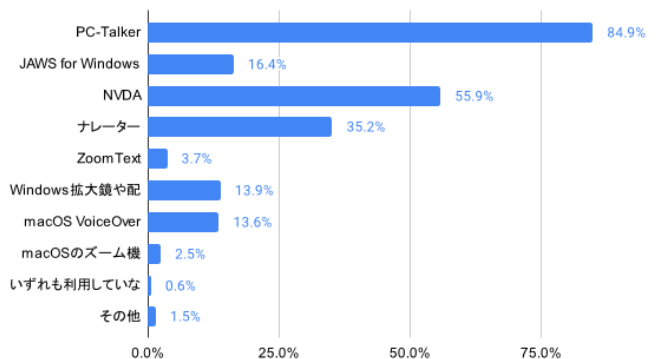
Windowsの操作を音声で案内するスクリーンリーダー「PC-Talker」

- 視覚障害者用ソフトウェアについては国内約80%のシェアを誇るトップ企業である。製品は、PC初心者も簡易に操作できるなど、ユーザビリティを最優先に開発・製作されており、こうした姿勢が、視覚障害者にとって「高知といえば高知システム開発」といわれるほど、圧倒的なシェアと大きな支持を得ているところである。



スクリーンリーダーほか視覚障害者向けに開発されたソフトウェアがインストールされたパソコンによる操作実演

パソコンで使うもの(複数回答、設問D-1)



パソコンで使うものとの質問に対しPC-Talkerと回答があったのは84.9%  
(日本視覚障害者ICTネットワークによる第1回支援技術利用状況調査)

- 同社の製品は、スクリーンリーダーPC-Talkerシリーズを始め、MyWord7(ワードプロセッサ・ワープロ)、MyRead7(印刷物・自動朗読)、MyBookV(総合読書システム)、MyMailV(メールソフト・メーカー)、MyNewsNeo(ニュース閲覧)、MyRouteNeo(経路探索)、MyDicNeo(辞書検索)、MyDoctorNeo(健康・医療)など多岐の分野にわたっており、視覚障害者の様々な情報へのアクセスに多大な貢献をしている。

- 同社では、パソコンソフトウェアのほかにも、スマートフォンなどの携帯端末に対応したアプリを今年発表するなど、ICT技術の進展に適応した研究開発力を有しており、今後も視覚障害者がより高度情報化社会の環境を積極的に利用できるよう、様々な製品の開発が期待される場所である。



株式会社高知システム開発  
(社屋全景)

- 点字図書館や教育、福祉施設等へ製品を寄贈するなどの活動にも積極的に取り組むなど社会貢献にも寄与している。